

教 科	受験番号
保健体育	

1 学習指導要領解説に関する次の(1)～(7)の各設問に答えよ。

- (1) 「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 保健体育編」における、「総説」の「改訂の経緯及び基本方針」の中から抜粋した次の文章について、(A)～(E)に当てはまる正しい語句の組合せを、①～⑤の中から一つ選べ。

(A)においては、各学校が(B)に編成することが大切である。その際、「指導計画の作成と内容の取扱い」を踏まえて、3年間の見通しをもった(C)を作成することとなるが、作成に当たっては、「体育」及び「保健」の指導内容の関連を踏まえること、体育・健康に関する指導につながる健康安全、体育的行事等との関連について見通しをもつなど、保健体育科を中心とした「(D)」の視点から計画を立てることが大切である。その際、教科で学習する内容の確実な定着を図ることが重要であり、(E)の学習との区分を明確にした計画の立案に留意することも大切である。

- |   |                   |         |            |
|---|-------------------|---------|------------|
| ① | (A) 年間指導計画        | (B) 独自  | (C) 教育課程   |
|   | (D) カリキュラム・デザイン   | (E) 教科外 |            |
| ② | (A) 年間指導計画        | (B) 主体的 | (C) 教育課程   |
|   | (D) カリキュラム・マネジメント | (E) 他教科 |            |
| ③ | (A) 教育課程          | (B) 独自  | (C) 年間指導計画 |
|   | (D) カリキュラム・デザイン   | (E) 教科外 |            |
| ④ | (A) 教育課程          | (B) 主体的 | (C) 年間指導計画 |
|   | (D) カリキュラム・マネジメント | (E) 教科外 |            |
| ⑤ | (A) 教育課程          | (B) 主体的 | (C) 年間指導計画 |
|   | (D) カリキュラム・マネジメント | (E) 他教科 |            |

(2) 「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 保健体育編」における、「保健体育科の目標及び内容」の「教科の目標及び内容」の中から抜粋した次の文章について、(A)～(E)に当てはまる正しい語句の組合せを、①～⑤の中から一つ選べ。

課題を発見し、(A)、計画的な解決に向けた(B)とは、「体育」においては、各領域特有の特性や魅力に応じた課題や生涯にわたって豊かな(C)を継続するための課題等を発見し、運動に関わる一般原則や運動に伴う事故の防止等の(D)な知識や技能及び(C)をより豊かにするための(E)を活用して、計画を立て、実践し、評価するという課題解決の過程などを活用して、自らの学習活動を振り返りつつ、仲間とともに課題を解決し、次の学びにつなげられるようにするという学習の過程を示している。

- |   |         |          |             |
|---|---------|----------|-------------|
| ① | (A) 合理的 | (B) 学習過程 | (C) スポーツライフ |
|   | (D) 科学的 | (E) 知識等  |             |
| ② | (A) 体系的 | (B) 学習過程 | (C) スポーツライフ |
|   | (D) 科学的 | (E) 知識等  |             |
| ③ | (A) 合理的 | (B) 学習指導 | (C) スポーツライフ |
|   | (D) 合理的 | (E) 経験等  |             |
| ④ | (A) 体系的 | (B) 学習指導 | (C) QOL     |
|   | (D) 合理的 | (E) 経験等  |             |
| ⑤ | (A) 合理的 | (B) 学習過程 | (C) QOL     |
|   | (D) 科学的 | (E) 知識等  |             |

- (3) 「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 保健体育編」における、「保健体育科の目標及び内容」の「教科の目標及び内容」の中から抜粋した次の文章について、(A)、(B)に当てはまる正しい語句の組合せを、①～⑥の中から一つ選べ。

「体育」においては、(A)の二極化傾向が見られることや、様々な人々と協働し自らの生き方を育んでいくことの重要性などが指摘されている中で、体力や技能の程度、年齢や性別、障害の有無等にかかわらず、運動やスポーツの特性や魅力を実感したり、運動やスポーツが多様な人々を結び付けたり豊かな人生を送ったりする上で重要であることを認識したりすることが求められる。その際、体育の(B)に示されたように、各種の運動やスポーツが有する楽しさや喜び及び関連して高まる体力などの視点から、自己の適性等に応じた多様な関わり方を見いだすことができるようになるための指導の充実を図ることが、「体育」での学習と社会をつなぐ上で重要なものであることを示したものである。

- |   |                    |            |
|---|--------------------|------------|
| ① | (A) 運動が得意な子供と苦手な子供 | (B) 見方・考え方 |
| ② | (A) 運動が得意な子供と苦手な子供 | (B) 在り方    |
| ③ | (A) 運動する子供とそうでない子供 | (B) 見方・考え方 |
| ④ | (A) 運動する子供とそうでない子供 | (B) 在り方    |
| ⑤ | (A) 運動が好きな子供と嫌いな子供 | (B) 見方・考え方 |
| ⑥ | (A) 運動が好きな子供と嫌いな子供 | (B) 在り方    |

- (4) 「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 保健体育編」における、「各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」の「指導計画作成上の配慮事項」の中から抜粋した次の文章について、(A)～(F)に当てはまる正しい数字の組合せを、①～⑤の中から一つ選べ。

〈各年次の「体育」の単位数〉

「体育」の単位数は、従前どおり、標準単位数を(A)としている。

「体育」の単位数の各年次別の配当については、各年次継続して履修できるようにするとともに、各年次になるべく均分して配当することとしている。これは、知・徳・体の調和のとれた教育課程を編成するという観点と総則に示す「健やかな体」で求めている体力の向上，健康の保持増進，さらには，日常生活における適切な体育的実践の活動を促すという観点などによるものである。

〈各領域に相当する授業時数〉

「体育」の指導計画の作成に当たっては，特に，体づくり運動については，各年次で(B)単位数～(C)単位数程度を，体育理論については，各年次で(D)単位数以上を配当することとし，指導内容の確実な定着が図られるようにしている。

体づくり運動における配当を(B)単位数～(C)単位数程度としているのは，授業時数が2単位の学年については(E)単位数以上とし，3単位の学年については(F)単位数を目安として配当することを想定したためである。

また，体づくり運動及び体育理論以外の領域に対する授業時数の配当については，「その内容の習熟を図ることができるよう考慮するものとする」と示している。

- |   |         |       |        |
|---|---------|-------|--------|
| ① | (A) 7～8 | (B) 7 | (C) 10 |
|   | (D) 6   | (E) 7 | (F) 10 |
| ② | (A) 6～9 | (B) 7 | (C) 10 |
|   | (D) 6   | (E) 7 | (F) 9  |
| ③ | (A) 7～8 | (B) 6 | (C) 9  |
|   | (D) 6   | (E) 6 | (F) 9  |
| ④ | (A) 6～9 | (B) 6 | (C) 9  |
|   | (D) 7   | (E) 6 | (F) 10 |
| ⑤ | (A) 7～8 | (B) 7 | (C) 10 |
|   | (D) 7   | (E) 7 | (F) 10 |

(5) 「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 保健体育編」における、「保健体育科の目標及び内容」の「各科目の目標及び内容」の中から抜粋した次の文について、(A)～(C)に当てはまる正しい語句の組合せを、①～⑤の中から一つ選べ。

(ア)環境と健康

人間の生活や(A)は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものであるよう基準が設定され、それに基づき行われていること。

(イ)食品と健康

食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていること。

(ウ)保健・医療制度及び地域の保健・医療機関

生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること。

また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には(B)こと。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であること。

(エ)様々な保健活動や社会的対策

我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていること。

(オ)健康に関する環境づくりと社会参加

自他の健康を保持増進するには、(C)の考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であること。

- |            |           |                |
|------------|-----------|----------------|
| ① (A) 生産活動 | (B) 制限がある | (C) トータルヘルスケア  |
| ② (A) 産業活動 | (B) 制限がある | (C) ヘルスプロモーション |
| ③ (A) 生産活動 | (B) 許可がある | (C) ヘルスプロモーション |
| ④ (A) 産業活動 | (B) 許可がある | (C) ヘルスプロモーション |
| ⑤ (A) 産業活動 | (B) 制限がある | (C) トータルヘルスケア  |

(6) 次の文章は、領域「球技」の指導に当たり、「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 保健体育編」における「保健体育科の目標及び内容」の「各科目の目標及び内容」に基づいて、「入学年次」に身に付けることができるよう指導する「知識及び技能」の中から一部抜粋したものである。(A)～(C)に当てはまる正しい語句の組合せを、①～⑥の中から一つ選べ。

次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。

ア (A)型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって(A)前への侵入などから攻防をすること。

イ (B)型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。

ウ (C)型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすること。

- |              |            |            |
|--------------|------------|------------|
| ① (A) ゴール    | (B) ベースボール | (C) ネット    |
| ② (A) ネット    | (B) ベースボール | (C) ゴール    |
| ③ (A) ベースボール | (B) ネット    | (C) ゴール    |
| ④ (A) ゴール    | (B) ネット    | (C) ベースボール |
| ⑤ (A) ネット    | (B) ゴール    | (C) ベースボール |
| ⑥ (A) ベースボール | (B) ゴール    | (C) ネット    |

(7) 次の文章は、領域「体育理論」の指導に当たり、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 保健体育編」における「保健体育科の目標及び内容」の「各科目の目標及び内容」に基づいて、身に付けることができるよう指導する「知識」の中から一部抜粋したものである。(A)～(E)に当てはまる正しい語句の組合せを、①～⑤の中から一つ選べ。

ア スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。

(ア) スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。

(イ) 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、(A)や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、(B)の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること。

(ウ) 現代のスポーツは、経済的な(C)があり、(D)が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な(C)が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められること。

(エ) スポーツを行う際は、スポーツが(E)にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められること。

- |   |              |            |          |
|---|--------------|------------|----------|
| ① | (A) 国際交流     | (B) 能力     | (C) 波及効果 |
|   | (D) スポーツ産業   | (E) 環境や社会  |          |
| ② | (A) 国際交流     | (B) 能力     | (C) 波及効果 |
|   | (D) スポーツビジネス | (E) 社会や人間性 |          |
| ③ | (A) 国際親善     | (B) 肉体     | (C) 利用価値 |
|   | (D) スポーツ産業   | (E) 人間性や環境 |          |
| ④ | (A) 国際親善     | (B) 肉体     | (C) 利用価値 |
|   | (D) スポーツビジネス | (E) 社会や人間性 |          |
| ⑤ | (A) 国際親善     | (B) 能力     | (C) 波及効果 |
|   | (D) スポーツ産業   | (E) 環境や社会  |          |

2 次の (8) ～ (13) の各設問に答えよ。

(8) 厚生労働省が令和4年5月に作成したマスクの着用に関するリーフレット, 「新型コロナウイルス感染症対策 子どもへのマスク着用について」の中から一部抜粋した (A) ～ (D) の各文について, 正しいものの組合せを, 次の①～⑥の中から一つ選べ。

(A) 人との距離 (1 m 以上を目安) が確保できる場合においては, マスクを着用する必要はありません。

(B) 屋外でマスク着用の必要がない場面

・ 人との距離が確保できる場合

・ 人との距離が確保できなくても, 会話をほとんど行わないような場合

(C) 屋内でマスク着用の必要がない場面

・ 人との距離が確保できなくても, 会話をほとんど行わないような場合

(D) 学校生活でマスク着用の必要がない場面

・ 屋外の運動場に限らず, プールや屋内の体育館等を含め, 体育の授業や運動部活動, 登下校の際

① (A) と (B)                      ② (A) と (C)                      ③ (A) と (D)

④ (B) と (C)                      ⑤ (B) と (D)                      ⑥ (C) と (D)



(9) 政府が、令和3年3月25日に策定した「熱中症対策行動計画」に関する次の文章について、(A)に当てはまる期間を、次の①～⑨の中から1つ選べ。

熱中症対策推進会議の第1回会合を令和3年3月25日に開催し、特に死亡者数の多い高齢者向けの熱中症対策や、地域や産業界との連携強化などの重点対策を体系的にまとめた「熱中症対策行動計画」を策定しました。本計画を踏まえ、これまで毎年7月に実施してきた熱中症予防強化月間を、令和3年度から「熱中症予防強化キャンペーン」として、熱中症対策に関する関係府省庁の連携を強化して広報を実施することとしました。キャンペーンの実施期間は毎年(A)とすることで、時期に応じて適切な呼びかけを行います。

- |         |         |          |
|---------|---------|----------|
| ① 4月～8月 | ② 4月～9月 | ③ 4月～10月 |
| ④ 5月～8月 | ⑤ 5月～9月 | ⑥ 5月～10月 |
| ⑦ 6月～8月 | ⑧ 6月～9月 | ⑨ 6月～10月 |

(10) 「第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画(令和4年3月)」における、「施策の展開」に係る次の文章について、(A)～(E)の各文のうち、正しい文章の組合せを、①～⑨の中から一つ選べ。

(A) 幼児の運動遊びを推進するため、県内全園の教員を対象に、遊びを通じた指導方法等の研修会を実施する。【幼稚園・保育所等】

(B) 体育教員の資質や指導力の向上を図るため、ACPを活用した体力向上講習会を開催するほか、国が主催する中央研修会へ派遣する。【小中学校】

(C) 学校の始業前や業間休みを利用し、仲間と協力して記録向上の喜びを感じながら体力向上を目指す「ミナレク運動」を推進する。【小中学校】

(D) 学校体育を充実させるため、動画撮影による動作分析や記録管理など、ICTを活用した授業を実践する。【中学・高校】

(E) 部活動に加入している生徒を対象に、安全で確かな指導力のための運動部活動実技講習会を開催する。【中学・高校】

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| ① (A) と (B) と (C) | ② (A) と (B) と (D) |
| ③ (A) と (B) と (E) | ④ (A) と (C) と (D) |
| ⑤ (A) と (C) と (E) | ⑥ (A) と (D) と (E) |
| ⑦ (B) と (C) と (D) | ⑧ (B) と (C) と (E) |
| ⑨ (B) と (D) と (E) | ⑩ (C) と (D) と (E) |

- (11) 「第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画(令和4年3月)」における、「基本目標」に係る次の文章について、(A)、(B)に当てはまる正しい語句の組合せを、①～⑥の中から一つ選べ。

「すべての県民がスポーツの持つ力の恩恵(健康と生きがい)を得られる岐阜県」を目指し、『(A)スポーツ立県・ぎふ』を基本目標に掲げて、子どもから高齢者まであらゆる世代の県民が、それぞれの関心、適性等に応じて、(B)スポーツを楽しみ、スポーツの持つ力で生涯にわたり健康と生きがいを得られる「清流の国ぎふ」の実現を目指します。

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| ① (A) 誰一人取り残されない | (B) ライフスタイルに応じた |
| ② (A) 誰もが楽しめる    | (B) ライフスタイルに応じた |
| ③ (A) 誰もが楽しめる    | (B) 多様なスタイルで    |
| ④ (A) 誰でも楽しめる    | (B) 多様なスタイルで    |
| ⑤ (A) 誰一人取り残されない | (B) 多様なスタイルで    |
| ⑥ (A) 誰でも楽しめる    | (B) ライフスタイルに応じた |

(12) 「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について (令和2年9月1日スポーツ庁事務連絡)」の中から抜粋した次の文章について、(A)～(E)に当てはまる正しい語句の組合せを、①～⑤の中から一つ選べ。

休日の部活動における生徒の指導や大会の引率については、学校の職務として教師が担うのではなく(A)の活動として(B)が担うこととし、(C)を推進するための実践研究を実施する。その成果を基に、令和(D)年度以降、休日の部活動の段階的な(E)を図るとともに、休日の部活動の指導を望まない教師が休日の部活動に従事しないこととする。

- |   |        |          |           |
|---|--------|----------|-----------|
| ① | (A) 外部 | (B) 外部人材 | (C) 社会部活動 |
|   | (D) 5  | (E) 外部移行 |           |
| ② | (A) 地域 | (B) 地域人材 | (C) 地域部活動 |
|   | (D) 6  | (E) 地域移行 |           |
| ③ | (A) 地域 | (B) 地域人材 | (C) 地域部活動 |
|   | (D) 5  | (E) 地域移行 |           |
| ④ | (A) 外部 | (B) 外部組織 | (C) 社会部活動 |
|   | (D) 5  | (E) 外部移行 |           |
| ⑤ | (A) 地域 | (B) 外部組織 | (C) 地域部活動 |
|   | (D) 6  | (E) 地域移行 |           |

(13) 「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について（令和2年9月1日スポーツ庁事務連絡）」の中から抜粋した次の文章について、(A)～(E)の各文のうち、正しいものの組合せを、①～⑩の中から一つ選べ。

(A) 部活動は、生徒の自主的、自発的な参加により行われるものであり、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、学校教育外の活動として、学習指導要領に位置付けられた活動である。

(B) 地域部活動の運営主体は、退職教師、地域のスポーツ指導者、スポーツ推進委員、生徒の保護者等の参画や協力を得て、総合型地域スポーツクラブ、民間のスポーツクラブ、芸術文化団体等が担うことが考えられる。

(C) 地域部活動の指導者は、部活動に参加する生徒の意向を踏まえ、指導方針や活動内容を決定する。その際、平日の学校部活動との関連性を考慮する必要はない。

(D) 地域の実情を踏まえ、特に少子化の影響が大きい過疎地域においては、地方自治体の判断に基づき、市町村を越えた他校との合同部活動を推進するとともに、都市部においては、市内の近隣校との「拠点校方式」による合同部活動を推進する事業を実施する。

(E) 全国大会に参加できるのは、一部の学校であり、大多数の学校が関係するのは地方大会である。このため、学校の働き方改革の観点も踏まえ、主に地方大会の在り方を整理する必要がある。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| ① (A) と (B) と (C) | ② (A) と (B) と (D) |
| ③ (A) と (B) と (E) | ④ (A) と (C) と (D) |
| ⑤ (A) と (C) と (E) | ⑥ (A) と (D) と (E) |
| ⑦ (B) と (C) と (D) | ⑧ (B) と (C) と (E) |
| ⑨ (B) と (D) と (E) | ⑩ (C) と (D) と (E) |

3 科目「保健」及び科目「体育」の指導内容に関する次の(14)～(20)の各設問に答えよ。

(14) (A)～(D)の性感染症とその症状と特徴について、正しい組合せを次の①～⑥の中から一つ選べ。

(A) 性器クラミジア感染症

男性は、尿道から膿が出たり、排尿時に痛みがある。女性は、自覚症状がない場合が多いが、おりものの量が増える。

(B) 淋菌感染症

男女とも自覚症状がない場合が多い。男性は、排尿時に軽い痛みがある。女性は、不妊症の原因となる。

(C) 性器ヘルペスウイルス感染症

男女とも性器に痛みをともなう小さな水疱ができる。水疱がやぶれると、潰瘍ができる。再発しやすい。

(D) 梅毒

経過期間によって異なり、しこりやリンパ節の腫れ、全身の赤い発疹などが出る。妊娠中の場合、胎児に感染することがある。

- |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| ① (A) と (B) | ② (A) と (C) | ③ (A) と (D) |
| ④ (B) と (C) | ⑤ (B) と (D) | ⑥ (C) と (D) |

(15) おもながんの種類とその症状などの組合せについて、正しくないものを次の①～⑤の中から一つ選べ。

(A) 肺がん

気管支や肺胞の細胞が何らかの原因でがん化したもの。日本人のがんのなかで、死亡数がかつとも多く、とくに男性に多い。治療が難しいがんの1つ。

(B) 胃がん

胃の壁の内側をおおう粘膜の細胞ががん細胞となったもので、ピロリ菌の感染が発病にかかわる。男性に多く、50歳ころから増加する。胃の壁を硬く厚くさせながら広がっていくタイプ（スキルス胃がん）もある。

(C) すい臓がん

約9割ですい臓の細胞にがんができる。早期の自覚症状はほとんどなく、進行すると、血便、下痢と便秘の繰り返し、便が残る感じ、体重減少などが起こる。

(D) 肝臓がん

肝炎ウイルスへの感染がおもな原因で、肝臓の細胞ががん化したもの。男性に多い傾向があり、50歳代から増加し、80歳前後でピークとなる。

(E) 子宮がん

ヒトパピローマウイルスへの感染が原因で、子宮の入口にできる子宮頸がんと女性ホルモンの刺激などが原因で、子宮の奥側にできる子宮体がんがある。月経中ではないときの出血などがあるときには、早期に受診する。

① (A)      ② (B)      ③ (C)      ④ (D)      ⑤ (E)

(16) 消防庁救急企画室が令和4年3月31日に事務連絡として各都道府県消防防災主管部(局)宛に発出した『「救急蘇生法の指針2020(市民用)」への対応について』に記載されている心肺蘇生法について、(A)～(D)に当てはまる正しい数字の組合せを、①～⑥の中から一つ選べ。

- ・胸骨圧迫のテンポは(A)回/分
- ・救助者が人工呼吸の訓練を受けており、それを行う技術と意思がある場合は、胸骨圧迫と人工呼吸を(B)：(C)の比で行う。
- ・胸骨圧迫の深さは、成人の場合、約(D)cm沈むまでしっかりと圧迫する。

①	(A) 90～120	(B) 20	(C) 1	(D) 15
②	(A) 90～120	(B) 20	(C) 2	(D) 15
③	(A) 90～120	(B) 30	(C) 1	(D) 5
④	(A) 100～120	(B) 30	(C) 2	(D) 15
⑤	(A) 100～120	(B) 20	(C) 1	(D) 5
⑥	(A) 100～120	(B) 30	(C) 2	(D) 5



(17) 次の (A) ~ (E) は、科目「保健」で学習する用語についての説明である。正しい組合せを、①~⑩の中から一つ選べ。

(A) 世界保健機関 (WHO)

WHOでは、①飢餓、食料不安及び栄養失調の撲滅、②貧困の削減と全ての人々の経済・社会发展、③現在及び将来の世代の利益のための天然資源の持続的管理と利用、を主要な3つのゴールと定めている。

(B) 免疫

生体には自分 (自己) と自分以外のもの (非自己) を鋭敏に識別する働きがある。非自己の物質や生物が体内に入ると異物と認識し、それから身を守るため排除しようとする複数の働きが起こる。これが免疫と呼ばれる反応である。

(C) ワクチン

感染症の予防のため特定の病原体に対する免疫を人工的につくらせることを目的とした医薬品。細菌やウイルスを無毒化または弱毒化し得られた抗原 (病原体成分の一部またはすべて、あるいは細菌毒素など) を注射などの方法により人やペットなどの動物に接種して免疫を獲得させる。

(D) インフォームド・コンセント

医療機関で医師の診療を受けているなかで、主治医などの診断、治療法の選択などに納得できない場合や、確かめたい場合などに、別の医療機関や医師などに意見を求めること。

(E) 副作用

独立行政法人医薬品医療機器総合機構法では、「許可医薬品が適正な使用目的にしたがい、適正に使用された場合においても、その許可医薬品により人に発現する有害な反応をいう」と定義している。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| ① (A) と (B) と (C) | ② (A) と (B) と (D) |
| ③ (A) と (B) と (E) | ④ (A) と (C) と (D) |
| ⑤ (A) と (C) と (E) | ⑥ (A) と (D) と (E) |
| ⑦ (B) と (C) と (D) | ⑧ (B) と (C) と (E) |
| ⑨ (B) と (D) と (E) | ⑩ (C) と (D) と (E) |

(18) 次の(A)～(E)は、科目「体育」で学習する用語についての説明である。正しい組合せを、①～⑨の中から一つ選べ。

(A) 柔軟性

柔軟性とは、筋肉、腱、靭帯などの柔らかさのこと。柔軟性がよいと、関節の運動範囲が大きくなるので、動作も大きくなる。

(B) サイバネティックス

サイバネティックスとは、動物の行動を電気通信の理論を用いて説明しようとする学問。1948年にアメリカの数学者ノバート・ウイナーが提唱したものである。

(C) 骨格筋

筋肉には、骨格筋、心筋、平滑筋がある。ふつう筋肉といえば、骨格筋を指す。骨格筋を構成する筋細胞(筋線維という)には横紋と呼ばれる横じまがあることから横紋筋という。

(D) 筋収縮

筋収縮には大きく分けて3つの種類がある。筋肉が長さを変えないで力を発揮するエクセントリック収縮(等尺性収縮)、筋肉が短縮しながら力を発揮するアイソメトリック収縮(短縮性収縮)、筋肉がのばされながら力を発揮するコンセントリック収縮(伸張性収縮)である。

(E) パワー

運動時におけるパワーは、体重や、砲丸やバールなどの重量負荷の大きさと動きの速さによって決定され、「体重/スピード」であらわされる。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| ① (A) と (B) と (C) | ② (A) と (B) と (D) |
| ③ (A) と (B) と (E) | ④ (A) と (C) と (D) |
| ⑤ (A) と (C) と (E) | ⑥ (A) と (D) と (E) |
| ⑦ (B) と (C) と (D) | ⑧ (B) と (C) と (E) |
| ⑨ (B) と (D) と (E) | ⑩ (C) と (D) と (E) |

(19) 次の文章は、領域「器械運動」の指導に当たり、【入学年次】における「知識及び技能」の指導内容について、「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 保健体育編」における「保健体育科の目標及び内容」の「各科目の目標及び内容」の中から一部抜粋したものである。(A)～(D)に当てはまる正しい語句の組合せを、①～⑨の中から一つ選べ。

ア ヲット運動では、(A)の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技すること。  
イ 鉄棒運動では、(B)の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技すること。  
ウ 平均台運動では、(C)の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技すること。  
エ 跳び箱運動では、(D)の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと。

- |   |               |               |
|---|---------------|---------------|
| ① | (A) 切り返し系や回転系 | (B) 体操系やバランス系 |
|   | (C) 支持系や懸垂系   | (D) 回転系や巧技系   |
| ② | (A) 切り返し系や回転系 | (B) 支持系や懸垂系   |
|   | (C) 体操系やバランス系 | (D) 回転系や巧技系   |
| ③ | (A) 切り返し系や回転系 | (B) 回転系や巧技系   |
|   | (C) 支持系やバランス系 | (D) 体操系やバランス系 |
| ④ | (A) 体操系やバランス系 | (B) 切り返し系や回転系 |
|   | (C) 回転系や巧技系   | (D) 支持系や懸垂系   |
| ⑤ | (A) 体操系やバランス系 | (B) 回転系や巧技系   |
|   | (C) 支持系や懸垂系   | (D) 切り返し系や回転系 |
| ⑥ | (A) 体操系やバランス系 | (B) 支持系や懸垂系   |
|   | (C) 切り返し系や回転系 | (D) 回転系や巧技系   |
| ⑦ | (A) 回転系や巧技系   | (B) 支持系や懸垂系   |
|   | (C) 体操系やバランス系 | (D) 切り返し系や回転系 |
| ⑧ | (A) 回転系や巧技系   | (B) 体操系やバランス系 |
|   | (C) 支持系や懸垂系   | (D) 切り返し系や回転系 |
| ⑨ | (A) 回転系や巧技系   | (B) 体操系やバランス系 |
|   | (C) 切り返し系や回転系 | (D) 支持系やバランス系 |

(20) 次の文章は、領域「陸上競技」の指導に当たり、[入学年次]における「知識及び技能」の指導内容について、「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 保健体育編」における「保健体育科の目標及び内容」の「各科目の目標及び内容」の中から一部抜粋したものである。(A)～(D)に当てはまる正しい語句の組合せを、①～⑤の中から一つ選べ。

ア 短距離走・リレーでは、(A)へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めること、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ること、ハードル走では、(B)走りからハードルを低く越すこと。

イ 走り幅跳びでは、(C)助走から力強く踏み切って跳ぶこと、走り高跳びでは、(D)助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶこと。

- |   |               |               |
|---|---------------|---------------|
| ① | (A) 中間走       | (B) スピードを維持した |
|   | (C) スピードに乗った  | (D) リズミカルな    |
| ② | (A) トップスピード   | (B) リズミカルな    |
|   | (C) スピードに乗った  | (D) スピードに乗った  |
| ③ | (A) 中間走       | (B) リズミカルな    |
|   | (C) スピードを維持した | (D) リズミカルな    |
| ④ | (A) トップスピード   | (B) スピードに乗った  |
|   | (C) リズミカルな    | (D) スピードを維持した |
| ⑤ | (A) 中間走       | (B) スピードを維持した |
|   | (C) リズミカルな    | (D) スピードに乗った  |

4 次の (21) ~ (25) の各設問に答えよ。

(21) 陸上競技ルールブック 2021 (公益財団法人 日本陸上競技連盟) におけるハートル競走男子 110m のハートルの標準の高さに関する各文の (A) ~ (D) に入る数字の組合せとして、最も適切なものを、①~⑥の中から一つ選べ。

- ・一般のハートルの高さは (A)、ハートルの間の距離は 9 m 1 4 0 で実施する。
- ・U 20 のハートルの高さは (B) mm、ハートルの間の距離は 9 m 1 4 0 で実施する。
- ・U 18 のハートルの高さは (C) mm、ハートルの間の距離は 9 m 1 4 0 で実施する。
- ・中学校<sup>\*</sup>のハートルの高さは (D) mm、ハートルの間の距離は 9 m 1 4 0 で実施する。  
※日本国内ルール

- |   |               |           |           |           |
|---|---------------|-----------|-----------|-----------|
| ① | (A) 1 m 0 6 7 | (B) 9 1 4 | (C) 9 9 1 | (D) 9 1 4 |
| ② | (A) 1 m 1 6 8 | (B) 9 9 1 | (C) 9 9 1 | (D) 9 1 4 |
| ③ | (A) 1 m 0 6 7 | (B) 9 1 4 | (C) 9 1 4 | (D) 8 3 7 |
| ④ | (A) 1 m 0 6 7 | (B) 9 9 1 | (C) 9 1 4 | (D) 9 1 4 |
| ⑤ | (A) 1 m 1 6 8 | (B) 9 9 1 | (C) 9 1 4 | (D) 8 3 7 |
| ⑥ | (A) 1 m 1 6 8 | (B) 9 1 4 | (C) 9 9 1 | (D) 8 3 7 |

( 2 2 ) 次の ( A ) ～ ( D ) は、公益財団法人 日本卓球協会公式サイトで卓球の基本的なルールについて紹介した内容の一部抜粋である。正しい組合せを、①～⑤の中から一つ選べ。

- ( A ) サービスは 2 本交替で、先に 1 1 点を取ると、1 ゲームを取ったことになる。ただし 1 0 対 1 0 になった時には、2 点差がつくまで試合が続く（その間サービスは 1 本交替）。
- ( B ) 各ゲームの開始から 5 ポイントごと（＝両競技者の点数の合計が 5 の倍数の時）、および最終ゲームのチェンジメント時に、短時間のタオル使用が認められる。
- ( C ) 各ゲーム開始後、1 0 分経ってもそのゲームが終了しない場合、「促進ルール」が適用される（両者のスコアの合計が 1 8 以上の時は適用されない）。
- 促進ルールでは、サーバー（サービスをする選手）が 1 3 回返球すると、サーバーのポイントとなる。サービスも 1 本交替に変更。試合が極端に長引くことを防ぐためのルールである。
- ( D ) 打ったボールがネット（またはネットを支える支柱）に触れて、相手コートに入った場合を「ネットイン」と呼ぶ。ネットインした場合は正しいリターン（返球）となり、そのままラリーが続く。ただし、サービスがネットインした場合は、ノーカウントでやり直しになる。

- |                 |                 |                 |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| ① ( A ) と ( B ) | ② ( A ) と ( C ) | ③ ( A ) と ( D ) |
| ④ ( B ) と ( C ) | ⑤ ( B ) と ( D ) | ⑥ ( C ) と ( D ) |

(23) 次の各文は、公益財団法人 全日本柔道連盟公式サイトにおいて柔道を知る・楽しむ・はじめるについて紹介した内容の一部抜粋である。(A)～(E)に入る数字の組合せとして、最も適切なものを、①～⑤の中から一つ選べ。

・柔道の技の種類は投技が(A)本、固技が(B)本あり、併せて(C)本になります。

・技のスコアには「一本」と「技あり」の2種類があります。

・一本 抑え込み

「抑え込み」が宣告されてから相手が(D)秒間逃げられなかった場合

・技あり 抑え込み

「抑え込み」が宣告されてから抑え込みの状態が(E)秒以上(D)秒未満継続した場合

- |   |         |         |           |         |         |
|---|---------|---------|-----------|---------|---------|
| ① | (A) 4 8 | (B) 3 2 | (C) 8 0   | (D) 2 5 | (E) 1 0 |
| ② | (A) 6 8 | (B) 2 4 | (C) 9 2   | (D) 2 0 | (E) 1 5 |
| ③ | (A) 4 8 | (B) 2 4 | (C) 7 2   | (D) 2 0 | (E) 1 0 |
| ④ | (A) 6 8 | (B) 3 2 | (C) 1 0 0 | (D) 2 0 | (E) 1 0 |
| ⑤ | (A) 4 8 | (B) 2 4 | (C) 7 2   | (D) 2 5 | (E) 1 5 |
| ⑥ | (A) 6 8 | (B) 3 2 | (C) 1 0 0 | (D) 2 5 | (E) 1 5 |

(24) 「バドミントンのフライトの特徴」について説明した次の文について、(A)～(C)のフライトの名称として正しい組合せを、①～⑥の中から一つ選べ。

- (A) フロントコートからのショットで、ネット近くからラケットに押し出されるように飛んでいくフライト。攻勢をかけるときに使う。
- (B) フロントコートからのショットで、相手の頭上を低い弧を描くように飛んでいくフライト。相手を後方に追いつめて体勢を崩すときに使う。
- (C) リアコートからのショットで、ネットを越えてすぐに落下するように飛んでいくフライト。相手を前方に動かすときに使う。

- |   |            |            |            |
|---|------------|------------|------------|
| ① | (A) ズッシュ   | (B) ドロップ   | (C) ドライドロブ |
| ② | (A) ズッシュ   | (B) ドライドロブ | (C) ヘアピン   |
| ③ | (A) ドライドロブ | (B) ズッシュ   | (C) ドロップ   |
| ④ | (A) ドライドロブ | (B) ズッシュ   | (C) ヘアピン   |
| ⑤ | (A) ドライドロブ | (B) ドロップ   | (C) ズッシュ   |
| ⑥ | (A) ズッシュ   | (B) ドライドロブ | (C) ドロップ   |



(25) 次の (A) ~ (E) は、公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟ブレイクダンス部公式サイトにおけるブレイクダンスを紹介した内容の一部抜粋である。サイトで紹介されている内容として正しい組合せを、①~⑩の中から一つ選べ。

(A) ブレイキンとはブレイクダンスとも言われています。音楽に乗せて身体のみあらゆる動きを使って、回ったり、跳ねたりとセンシティブな動きを取り入れたダンスです。

(B) 「BREAK DANCE」というものは、「4ELEMENTS」からなる「RAP」と呼ばれる文化の一つです。

(C) RAPのダンスを踊っている人たちのことを「BBOY, GIRL」と呼び、元々は「BOYING」や「BREAKING」、略して「ブレイキン」と呼ばれていましたが、流行とともに一般に分かりやすいように説明するため、「ブレイクダンス」と呼ばれるようになっていきました。

(D) 「4ELEMENTS」とは、DJ, BBOY, MC, GRAFFITYのことを言います。

(E) ブレイクダンスには様々な動きがありますが大きく分けるとTOPROCK, FOOTWORK, POWER MOVE, FREEZEといった構成になります。

- |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| ① (A) と (B) | ② (A) と (C) | ③ (A) と (D) |
| ④ (A) と (E) | ⑤ (B) と (C) | ⑥ (B) と (D) |
| ⑦ (B) と (E) | ⑧ (C) と (D) | ⑨ (C) と (E) |
| ⑩ (D) と (E) |             |             |



令和5年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験  
 第1次選考試験 高等学校 保健体育

問題番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
正解	④	①	③	①	②	④	⑤	⑤	②	②

問題番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正解	⑤	③	⑨	⑥	③	⑥	⑧	①	⑦	①

問題番号	21	22	23	24	25
正解	④	③	④	⑥	⑩

